

令和 3 年 6 月 30 日現在

機関番号：54401

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2018～2020

課題番号：18K02996

研究課題名(和文) キャリア転機に着目した女性技術者のキャリア発達メカニズムの分析と解明

研究課題名(英文) Analysis and elucidation of the career development mechanism of female engineers focusing on career transition

研究代表者

中谷 敬子(Keiko, Nakatani)

大阪府立大学工業高等専門学校・その他部局等・教授

研究者番号：60295714

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：近年の働き方の多様化に伴い、働く人々は、自らの価値観とそれを取り巻く環境を考慮しながら、予測できない転機へ対応していく必要に迫られている。本研究では、彼らのキャリアについてのナラティブな語りを読み解くことにより、個人の価値観とキャリア構築プロセスと転換期におけるキャリア発達プロセスの特徴とメカニズムが解明された。特に、両立育児含むキャリア転機とリフレーミングすることで、キャリア発達プロセスのメカニズムが解明された。自己責任の下でのキャリア構築を迫られている彼らは、ストレスを感じつつも同時にそれを望んでいることも明らかにできた。これにより、より効果的なキャリア発達支援の場の設計が可能となった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

彼らのキャリア発達プロセスの特徴を、より若年層へフィードバックする場を設計し、女性技術者の意識変容とその発達プロセスに与える影響と効果を解明することを目指した。具体的には、キャリアコンストラクションインタビュー(CCI)によるライフデザインアプローチを通じて、ナラティブな聞き取りによる語りの調査を実施し、幅広い年代層の女性技術者のキャリア発達のプロセスの分析を行った。これにより、個人のキャリアに対する価値観の環境への順応、意思決定・意識転換をアイデンティティの統合プロセスの分析を通じてキャリア発達のメカニズムの解明の新しいアプローチを提案した。

研究成果の概要(英文)：With the diversification of work styles in recent years, working people have been forced to respond to unpredictable transitions while taking into account their own values and the environment surrounding them. In this study, the characteristics and mechanisms of individual values, career building processes, and career development processes in transition periods were elucidated by reading their career narratives. In particular, by reframing the narratives as career turning points, including balancing childcare, the mechanisms of career development processes were clarified. It was also clarified that those who are forced to build their careers under self-responsibility feel stressed, but at the same time want to do so. As a result, it became possible to design a more effective place to support career development.

研究分野：工学教育、計算力学、キャリア支援

キーワード：キャリア発達 統合的ライフプランニング ナラティブアプローチ 理工系女性技術者 場の設計

## 1. 研究開始当初の背景

近年の働き方の多様化に伴い、個人は、自らの価値観とそれを取り巻く環境を考慮し、予測できない転機へ対応し、組織に依存せず、自己責任の上でキャリアを構築することが求められている。特に、申請者のこれまでの研究成果から、世代を超えたキャリア構築の場では、同世代よりもむしろ、異なる世代間での議論が活発である傾向が強いという知見を得ていた。それは若年層が年長層に体験談を聴くというよりも、年長層、それも60歳代、70歳代が、貴重な経験や視座を披露する場面が見られ、その場面での学びはいずれの世代に対しても見られた。

## 2. 研究の目的

当初の研究背景とこれまでのヒアリングや場での語り合いの観察から、本研究では、ナラティブな語りから、個人の価値観とキャリア構築プロセスと転換期におけるキャリア発達プロセスの特徴とメカニズムを解明し、両立育児含むキャリア転機をとりフレーミングすることで、キャリア発達プロセスのメカニズムを解明することを目的とした。

具体的には、キャリア発達プロセスの特徴をより若年層へフィードバックする場を設計し、女性技術者の意識変容とその発達プロセスに与える影響と効果を解明することを目的とした。

## 3. 研究の方法

目的を達成するための研究の方法は、キャリアコンストラクションインタビュー (CCI) によるライフデザインアプローチを通じて、ナラティブな聞き取りによる語りの調査である。これにより、幅広い年代層の女性技術者のキャリア発達のプロセスの分析を行い、個人のキャリアに対する価値観の環境への順応、意思決定・意識転換をアイデンティティの統合プロセスの分析を通じてキャリア発達のメカニズムを解明する。

## 4. 研究成果

個人は、自らの価値観とそれを取り巻く環境を考慮し、予測できない転機へ対応し、組織に依存せず、自己責任の上でキャリアを構築することが求められている。本研究では、ナラティブな語りから個人の価値観とキャリア構築プロセス、特に、転換期 (両立育児を含む) におけるキャリア発達プロセスのメカニズムを解明を目指した。特に、2020年度は、コロナ感染症流行に伴い、本来キャリアショックを迎える世代だけでなく、より若い世代においても、自らにキャリア、すなわち、生き方を問いかける必要に迫られる時代でもあった。

本来の対面でのヒアリングができなかったことが、かえって、許可を得た録音が可能なオンラインミーティングでのヒアリングを実施できたため、ナラティブな語りを丁寧に見ることができたことは大きい成果であった。

これにより、次年度以降の今までにない視点からの研究のきっかけを得た。

具体的には、オンラインで、その特徴を異なる年齢層、キャリア層へ相互フィードバックする場を設計し、女性技術者の意識変容とその発達プロセスに与える影響と効果を検討した。

ヒアリングは、キャリアコンストラクションインタビュー (CCI) によるライフデザインアプローチを通じて、ナラティブアプローチにより調査し、幅広い年代層の女性技術者のキャリア発達のプロセスの分析を行った。

個人のキャリアに対する価値観の環境への順応、意思決定・意識転換をアイデンティティの統合プロセスの分析を通じてキャリア発達のメカニズムを解明した。

特に、今後の研究に示唆を与えた注目する実績は、【女性技術者のベテラン層の個人のキャリア構築プロセスの意識変容のメカニズム解明】である。ベテラン層のキャリア発達プロセスと、自身の価値観の最も重要な部分を統合することが指摘されている、45歳以降での第二成人期のキャリア構築プロセスの意識変容のメカニズム解明に

注力した。このキャリアステージの個人は、所属する社会・環境もより複雑になっているという H.Gelatt が提案する「積極的（肯定的）不確実性モデル」といった新しい意思決定モデルを用いながら、意思決定、意識転換を遂げていくプロセスの解明を目指した。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計5件（うち査読付論文 0件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 中谷 敬子	4. 巻 67
2. 論文標題 リケジョde訪問シリーズ - 第4回サロン;東京工業高等専門学校での開催 -	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 工学教育	6. 最初と最後の頁 5_109-5_110
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.4307/jsee.67.5_109	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 中谷敬子他	4. 巻 52
2. 論文標題 2017年度ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ開催報告	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 大阪府立大学工業高等専門学校研究紀要	6. 最初と最後の頁 77-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 中谷敬子	4. 巻 66(6)
2. 論文標題 ダイバーシティのありたいカタチ: - 本音発信と本気受信の統合による共創 -	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 工学教育	6. 最初と最後の頁 6_118-6_118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 R.Chibana, T.Fukui and K.Nakatani	4. 巻 ACEE 2018
2. 論文標題 Rescue Robot Simulator	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Proceedings of 7th Asian Conference on Engineering Education	6. 最初と最後の頁 CD-ROM
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 中谷敬子	4. 巻
2. 論文標題 女性が理工系を学び、働くということ	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 兵庫県立男女共同参画センター・男女共同参画セミナー「理工系女子になろう！」講演集	6. 最初と最後の頁
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計12件（うち招待講演 3件 / うち国際学会 1件）

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 女性技術者のキャリア発達を統合的に考えよう
3. 学会等名 第2回 「ワークライフバランス」と「キャリア」を考える"場" “, 科研費テーマ研修会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 子どもが求めている学習環境を考える(好奇心の探求プロセスにより育む知恵とキャリアデザイン力)
3. 学会等名 語学教育ビジネスマスター講座(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 「理工系女子をめざそう！～好きなことを仕事にする～」
3. 学会等名 兵庫県立男女共同参画センター(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 働く価値観はたかちワークショップ
3. 学会等名 日本キャリアカウンセリング研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 働く価値観をみつめるはたかちフレンズ会
3. 学会等名 日本キャリアカウンセリング研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 企業で働く女性技術者のキャリア交流会
3. 学会等名 日本キャリアカウンセリング研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷敬子（実行委員会メンバー）
2. 発表標題 関西科学塾
3. 学会等名 独立行政法人科学技術振興機構委託事業（女子中高生理系進路選択支援）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 日中韓における働く女性の育児環境の比較
3. 学会等名 日本女性技術者フォーラム関西部会・リケジョキャリアと両立育児の日中韓ラウンドテーブル講演集
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Chibana, T.Fukui and K.Nakatani
2. 発表標題 Rescue Robot Simulator
3. 学会等名 7th Asian Conference on Engineering Education (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 女性が理工系を学び、働くということ
3. 学会等名 兵庫県立男女共同参画センター・男女共同参画セミナー「理工系女子になろう！」(招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 女性技術者のキャリア発達を統合的に考えよう
3. 学会等名 女性のキャリア・ラウンドテーブル第1回 女性技術者のキャリア発達を統合的に考えよう
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中谷敬子
2. 発表標題 「ワークライフバランス」と「キャリア」を考える"場"
3. 学会等名 女性のキャリア・ラウンドテーブル第2回 女性技術者のキャリア発達を統合的に考えよう
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関